

⑪公開実用新案公報(U)

昭54—152813

⑫Int. Cl.²

識別記号

⑬日本分類

庁内整理番号

⑭公開 昭和54年(1979)10月24日

F 02 D 11/02

51 E 63

6355—3G

A 01 D 75/18

1 C 134

7519—2B

F 02 D 9/02

6355—3G

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮スロットルレバー装置

⑯考案者 山口洋一

⑰実願 昭53—49829

明石市川崎町I番1号 川崎重工業株式会社明石工場内

⑱出願 昭53(1978)4月14日

⑲出願人 川崎重工業株式会社

⑳考案者 多鹿和也

神戸市生田区東川崎町2丁目14番地

明石市川崎町1番1号 川崎重

工業株式会社明石工場内

㉑代理人 弁理士 西教圭一郎

㉒実用新案登録請求の範囲

作業機操作用のハンドルに固定したレバーホルダにピンを介してレバーを枢着し、スロットルケーブルのアウトケーブル先端を前記レバーホルダに固定し、インナワイヤを前記レバーのボス部に連結し、前記レバーをハンドルグリップ側に操作したとき前記インナワイヤがリターンスプリングの弾発力に抗してエンジン増速側に引かれるようにしたスロットルレバー装置において、ねじ棒を前記ハンドルグリップ側に突出させて前記レバーの端部に螺着し、その突出量を調節自在にしたことを特徴とするスロットルレバー装置。

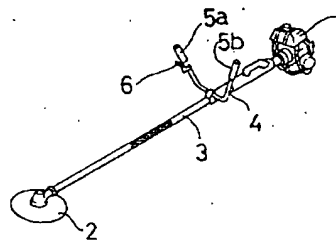
図面の簡単な説明

第1図は本考案が実施される刈払機の斜視図、第2図は第1図示のスロットルレバー装置6およ

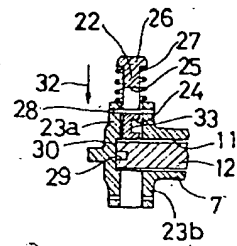
びハンドル4の一部の拡大平面図、第3図は第2図の切断面線Ⅲ—Ⅲに沿う断面図、第4図はブッシュボタン22の作動状況を示す第3図に対応した断面図、第5図は第1図示のレバー10の遊端部34付近の拡大縦断面図、第6図および第7図は第5図の切断面線Ⅴ—Ⅴ、Ⅶ—Ⅶに沿う断面図、第8図は本考案の他の実施例の平面図、第9図は本考案のさらに他の実施例の平面図である。

1…エンジン、4…ハンドル、5a、5b…ハンドルグリップ、7…レバーホルダ、10、50、61…レバー、12、60…ボス部、17…スロットルケーブル、18…アウトケーブル、20…インナワイヤ、38、62…ナット、41、53、63…ねじ棒、52…内ねじ。

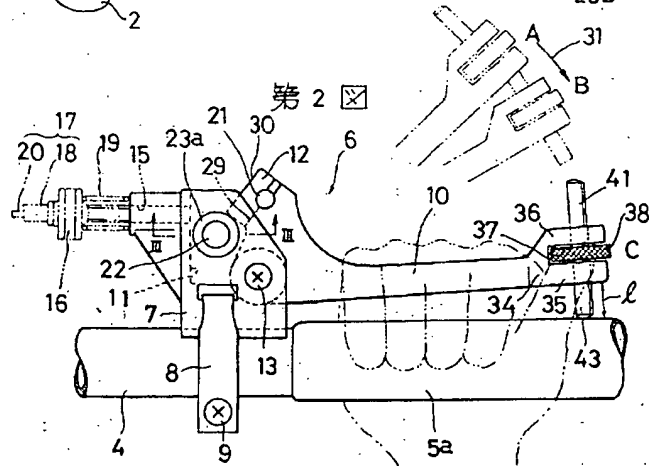
第 1 図



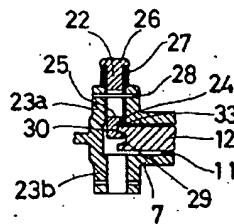
第 3 図



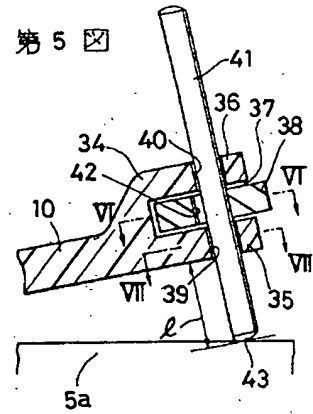
第 2 図



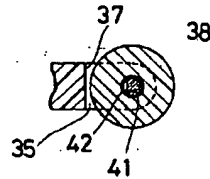
第 4 図



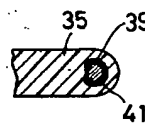
第 5 図



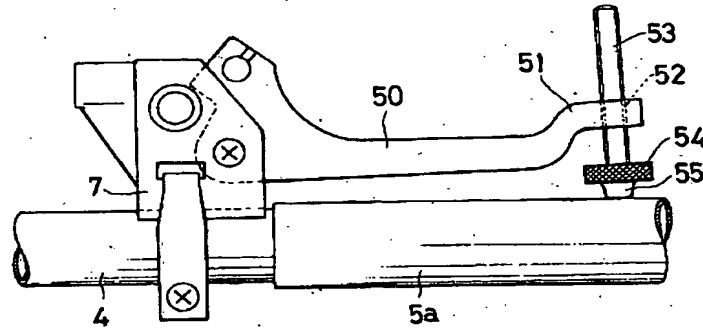
第 6 図



第 7 図



第 8 図



第 9 図

